東久留米市立図書館の運営体制

1 市と指定管理者の役割について

〈市の主な役割〉 管理者:館長(東久留米市立図書館条例第7条)

- ・図書館の基本的運営方針や計画を策定する図書館行政
- ・指定管理者に対するモニタリング等監理
- ・選書・除籍の基準策定及び資料購入の決定と除籍の最終確認
- ・地域資料 (行政資料含む) とハンディキャップサービス、中央図書館調査・資料室 の運営

〈指定管理者の主な役割〉 管理者:中央図書館長兼統括館長

- ・中央図書館と地区館(滝山・ひばりが丘・東部図書館)の一体的な管理運営(図書 館運営とサービス提供)
- ・選書・除籍の実務
- ・子ども読書活動の推進(児童サービス、学校図書館支援)
- ・中央図書館の施設管理

2 中央図書館と地区館の役割について

- ① 中央図書館を図書館運営の拠点館とする。
- ② 市立図書館全館を一元化した選書と蔵書管理を行う。
- ③ 中央図書館は専門的な資料を所蔵し、専門的レファレンスを行う。
- ④ 学校図書館支援は中央図書館が統括する。
- ⑤ 地区館は特性を反映した選書とする。

3 選書・除籍について

〈選書〉 東久留米市立図書館資料収集方針/東久留米市立図書館資料選定基準 等

- ・蔵書を4館で一元化して管理する。
- ・選定は司書の合議制で行う。
- ・資料購入の最終決定は市が行う。

〈除籍〉 東久留米市立図書館資料除籍基準

・除籍の最終決定は市が行う。

〈評価〉

・選書と除籍の評価については、学識経験者や市民代表を含む外部委員会として、図書館協議会が行う。

4 図書館協議会について

図書館協議会は、図書館法に基づく館長の諮問機関であり、協議会の委員は教育委員 会が任命する。

定数:10人以内(学校教育関係者/社会教育関係者/家庭教育の向上に資する活動 を行う者及び学識経験者/公募による者)

館 長 図書館協議会 図書館行政

図書館行政

図書館サービス

- ・図書館資料の選書・除籍(最終 確認・決定)
- ・中央図書館2階調査・資料室の運営(レファレンスサービス 含む)
- ・地域資料(行政資料含む)
- ・ハンディキャップサービス
- ・図書館システム
- ・図書館ホームページ

図書館協議会

連絡調整

・学校、本庁、他市等

指定管理者モニタリング

中央図書館及び地区館の 一体的な管理運営

図書館サービス

・図書館資料の選書・除籍(実務)

指定管理者

中央図書館長兼

統括責任者

・資料管理

協議・報告

会議

(情報共有)

- ・カウンター業務
- ・相互貸借・協力貸出
- ・児童サービス
- · 学校図書館支援
- ・レファレンスサービス
- ・ハンディキャップサービス(資料貸出、宅配等)
- ・多文化サービス
- ・図書館システム(運用)
- ・図書館ホームページ(運用)

地区館の運営

施設管理

・中央図書館の施設及び設備の 維持管理

指定管理者団体名:TRC・野村不動産パートナーズグループ

代表団体:株式会社図書館流通センター

構 成 団 体:野村不動産パートナーズ株式会社

指 定 期 間:令和3年4月1日~令和8年3月31日